



首都圏情報コーナー

首都圏佐渡連合会との懇談会開催される

去る11月23日、佐渡連合商工会と首都圏佐渡連合会との懇談会が東京・水道橋で開かれた。

この懇談会は、年に一度、各商工会役員と首都圏の佐渡経済人懇談会世話人ならびに佐渡連合会の役員有志が、佐渡の課題について議論をする会で、今年で4回を数える。今年の参加者は、佐渡から10名、首都圏からは19名の合計29名で開催された。

会議は、連合商工会の齋藤甲子郎会長の「大震災など暗いニュースが多かった中で、佐渡・新潟間での飛行機便の再開や、飛べ！ダコタの映画撮影開始など、明るい話題も多かった」というご挨拶で始まった。

今回のメインの議題はアンテナショップ「丸の内・佐渡特選館」と「佐渡特選市場」。末武社長の話として、開店1年強、試行錯誤しながらも軌道にのりかけており、加工食品や、お酒、工芸品の販売などで、これからも独自路線で頑張るという力強いお言葉をいただいた。

また首都圏佐渡連合会の摩尼会長からは、昨年企業進出されたヒューマン・キャピタル・コンサルティングを企業進出の成功事例としてぜひとも成功させたい、ということで協力の依頼があった。

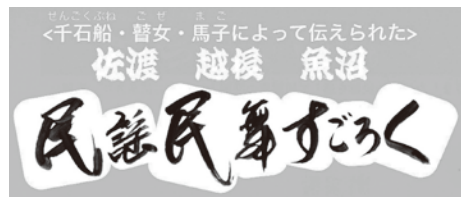
さらに、東京ドームで行われる「ふるさと祭り東京」についても視察団を派遣する方向で調整するということになり、爽り多い会合となった。

(文責・佐渡市東京事務所 小路 徹)



連合商工会会長・齋藤甲子郎氏のご挨拶

東日本大震災支援 21世紀おけさアートの会15周年記念公演



民謡が初めての人も詳しい人も、
一緒に楽しみましょう！

日時 3月19日(月) 午前11時開演
会場 文京シビックホール・大ホール
(東京都文京区春日)

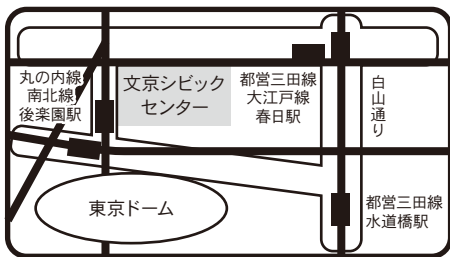
入場料 2,000円 (高齢者施設の方は無料)
先着 1,500名

主催：蘭の會 共催：21世紀おけさアートの会
後援：新潟県、佐渡市 ほか

お問い合わせ

蘭の會 ☎090-2916-2354 (会長：木村)

※会場アクセス



- ・東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」下車徒歩3分
- ・都営三田線・大江戸線「春日」下車徒歩3分
- ・都営三田線「水道橋」下車徒歩5分

随想

ゆめ飛行

No. 62

佐渡市長 高野宏一郎

イフガオの棚田(ライリピン) 訪問

昨年佐渡で行われたジアス(世界農業遺産)の認証式でF A O(国連食糧農業機関)本部のバルビス事務局長から、同じジアス地域であるフィリピンにイフガオの棚田について、「昨今若者の都市流出が激しく、水田の荒廃が危惧されている。」佐渡から中古の小型農業機械等の支援はできないかと提案がありました。

たまたま金沢大学が現地で開催するジアスフォーラムへの参加を要請されましたので、佐渡農協の高橋会長をお誘いして現地を視察してきました。

現地に空港はなく、マニラから北へ約300km、悪路を車で10時間の強行移動でした。このイフガオ州は6地区に分かれ、イフガオ族によって、世界にもまれな標高差1000mにも及ぶ息をのむような大棚田が2000年も前から耕されています。この貴重な農業システムが世界遺産(ユネスコ)とジアスにも認定されているものです。

南国と言っても真冬で標高も高く冷涼な気候でホテルには観光客も散見されたのですが、何しろ道路が悪く、現地で乗り換えた底高のバンで胃も腸もひっくりかえるような悪路を2日間かけて現場と州知事や地方政府を訪問、面会し、フォーラムでは現地大学やNGO関係者などと議論を深めました。しかし棚田の荒廃は著しく、景観保持のためか農道の整備も遅れているので、今のままでの機械化は難しく、佐渡農協も加わり現地関係者と今後の研究を進めることとなりました。

棚田地域ではイフガオ族の在来米が栽培され、その有機米は世界遺産に認定されていることで知名度が高く、通常の米の3倍もの値段で米国などにも輸出もされているようですが、佐渡の米になれた我々の舌にはなじまず、佐渡へ帰って食べる米の旨さを実感しているところです。

